

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： バイポーラ電気化学顕微鏡による生命システムの計測
2. 研究代表者： 井上 久美（山梨大学 大学院総合研究部 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題では、新たなバイポーラ電極素子を開発することで、これまでにない高解像度と高速性を併せ持つ電気化学顕微鏡を創出し、バイオイメージング法の新しい学術領域の創成と、生命システム解明、生命を模した超省エネルギー化などのイノベーション創出を目指している。フェーズ1では、バイポーラ電気化学顕微鏡を開発・改良し、高感度化と高速化、高解像度化において一定の成果を上げ、生命系の観測への準備を整えたことが評価できる。フェーズ2では、フェーズ1で発展させた技術に基づいて、実際の観測に着手する計画で、最初に掲げた目標を達成するために意欲的な計画が練られている。どのような測定対象を目指すかインパクトを最大化できるか検討し、より具体的なイメージに落とし込み、成果に繋げることを期待する。

以上